

小樽港で大規模な地震・津波に備えた訓練を実施します！

北海道開発局では、小樽港において、小樽市（港湾管理者）を始めとする各関係機関、団体、地域住民等の参加を得て、小樽沖を震源とする大規模地震及びこれに伴う津波来襲を想定した「平成30年度 小樽港 大規模地震・津波総合防災訓練」を実施します。

この訓練は、地震・津波による災害時の港湾機能の早期回復等に備え、関係機関等との連携強化及び防災意識の高揚を図ることを目的として行うものです。

訓練項目は、津波来襲時を想定した避難訓練、漂流者捜索・救助訓練、港湾巡視訓練、油防除訓練、航路啓開訓練、被災状況調査訓練、緊急支援物資輸送訓練の7項目を予定しております。

パネル展示コーナーや一般の方の見学スペースを用意しておりますので是非お越しください。

記

- 1 日 時 平成30年10月28日（日）10時30分～12時00分
- 2 場 所 小樽港 勝納埠頭 2番岸壁、3番岸壁（小樽市築港）
（別紙1を参照）
- 3 取材申込 取材を希望される場合は、あらかじめ10月26日（金）15時までに、以下の取材申込先担当者へご連絡願います。
- 4 その他
 - （1） 訓練プログラムについては、別紙2を御参照ください。
 - （2） 当日は、気象状況によって中止する場合があります。

【問合せ先】

国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311
港湾空港部 空港・防災課 課長補佐 日色 徳彦（内線 5632）
港湾空港部 空港・防災課 防災情報係長 鈴木 慶律（内線 5669）

北海道開発局ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/>



【問合せ先・取材申込先】

国土交通省 北海道開発局 小樽開発建設部
広報官 田中 邦彦（0134-23-9910）
築港課 課長補佐 廣部 俊夫（0134-23-5214）

小樽開発建設部ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/ot/>



会場案内図



「国土地理院の電子地図(淡色地図)を加工、会場案内を追記して掲載」

会場詳細図

別紙1



平成30年度
小樽港 地震・津波総合防災訓練会場
勝納埠頭2番岸壁、3番岸壁

「国土地理院の電子地形図(タイル)に会場案内を追記して掲載」

平成30年度 小樽港 大規模地震・津波総合防災訓練

スケジュール

●訓練内容につきましては、変更または当日の悪天候等により変更する場合があります。

訓練項目	突動機関
10:30 開会式	
10:41 ①避難訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・小樽市（港湾管理者） ・北海道札幌方面小樽警察署 ・小樽建設協会 ・北海道港運協会小樽支部 ・オタル若者ヴィレッジ ・小樽港湾事務所工事安全連絡協議会
10:52 ②漂流者捜索・救助訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道札幌方面小樽警察署 ・小樽市消防本部
11:00 ③港湾巡視訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・小樽開発建設部
11:08 ④油防除訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・小樽開発建設部
11:14 ⑤航路啓開訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・日本埋立浚渫協会 ・北海道港湾空港建設協会 ・日本海上起重技術協会 ・全国浚渫業協会 ・日本潜水協会 ・海洋調査協会 ・小樽港湾事務所工事安全連絡協議会 ・小樽開発建設部
11:35 ⑥被災状況調査訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・港湾技術コンサルタンツ協会 ・北海道開発局港湾・空港・漁港防災エキスパート ・北海道ポートエンジニアリング協会 ・小樽開発建設部
11:43 ⑦緊急支援物資輸送訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・小樽市（港湾管理者） ・陸上自衛隊北部方面総監部 ・小樽開発建設部
11:50 閉会式	

主催者

国土交通省北海道開発局、小樽開発建設部

参加機関・団体

小樽市（港湾管理者）、陸上自衛隊北部方面総監部、北海道札幌方面小樽警察署、小樽市消防本部、一般社団法人 日本埋立浚渫協会 北海道支部、北海道港湾空港建設協会、小樽建設協会、一般社団法人 日本海上起重技術協会、全国浚渫業協会 北海道支部、一般社団法人 日本潜水協会、一般社団法人 海洋調査協会、一般社団法人 港湾技術コンサルタンツ協会、北海道開発局港湾・空港・漁港防災エキスパート、北海道ポートエンジニアリング協会、北海道港運協会小樽支部、オタル若者ヴィレッジ、小樽港湾事務所工事安全連絡協議会

平成30年度
小樽港 大規模地震・津波総合防災訓練

プログラム



日付

平成30年10月28日（日） 10:30～12:00

場所

小樽港 勝納埠頭 2番岸壁、3番岸壁（小樽市築港）

平成30年度 小樽港 大規模地震・津波総合防災訓練

訓練概要

目的

本訓練は、小樽沖を震源とする大規模地震及びこれに伴う津波来襲による災害によって、港湾施設に被害が発生した場合の港湾機能の早期回復等に備え、関係機関との連携強化ならびに防災意識の高揚を目的とした実動訓練を実施するものである。

訓練想定

- ▶ 平成30年10月28(日)午前10時44分頃に、小樽沖を震源とするマグニチュード7.6の地震が発生し、小樽市で震度6弱の強い揺れが発生。
- ▶ この地震発生直後に大津波警報が発表され、最大8mの津波が来襲、その後、津波注意報に切り替わり、津波注意報も解除。

(写真：平成29年度 釧路川総合水防演習・広域連携防災訓練より)

2 漂流者捜索・救助訓練



- 津波が来襲すると、多くの人々が被災し漂流者になることが想定されることから、人命救助のため、生存者の捜索や救助活動が重要となります。
- 津波により被災を受けた漂流者を関係機関が連携して、救助を行います。

1 避難訓練



- 港湾地域における一般市民や就労者等は、津波があった場合、速やかに避難する必要があるため、日頃から避難場所や避難経路を確認しておく必要があります。
- 港湾管理者(小樽市)から、避難の情報伝達があったことを想定し、港を散策する市民や、岸壁で工事を行っている作業員が津波避難施設まで避難します。

3 港湾巡視訓練



- 津波が来襲すると、港湾施設に様々な被害をもたらし、港湾活動に支障を来すことから、早期に災害規模の概略を把握することが必要となります。
- 津波による港湾施設の被災を想定し、港湾施設に被害がないか、油流出や海底に障害物がないか、船舶により海底調査や目視点検等を行います。

4 油防除訓練



- 大規模災害時において、大量の油が流出された場合、沿岸海域における海洋汚染の拡大防止のため、関係機関と連携して油防除の取組を進めることが必要になります。
- 海上に油が流出した状況を想定し、港湾業務艇から油吸着マットを用いた回収を行います。

6 被災状況調査訓練



- 岸壁において、船舶の係留や荷物の積み上げ・積みおろしが可能なか確認するとともに、被災状況を踏まえ、応急措置や応急復旧対策等の検討が必要になります。
- 目視点検で岸壁の被災が確認されたことを想定し、北海道開発局の要請に基づき関係団体が被災状況の調査を行います。

5 航路啓開訓練



- 岸壁の高さを超えるような津波が来襲すると、ふ頭にあるコンテナ、木材など、様々なものがガレキとして海上に流れ出し、航路の障害となります。
- 津波により港内に多くの漂流物が流れ出し、船舶の航行に支障を来していることを想定し、潜水士による障害物の特定、起重機船による滞留物の除去作業、除去後の海底調査を行います。

7 緊急支援物資輸送訓練



- 大規模災害時において、孤立した被災者に対し食料・生活用品等の支援物資を速やかに避難所や被災地へ輸送する必要があります。
- 緊急支援物資を必要とする被災地域が発生したことを想定し、被害の無かった岸壁を使用して、船舶で運んできた緊急支援物資を関係機関が連携してトラックで輸送します。